

第9章 上五島分教室の研究

佐世保特別支援学校合同の単元別指導計画表の検討（国語・数学）

第9章 上五島分教室の研究

1 上五島分教室の研究テーマ

佐世保特別支援学校合同の単元別指導計画表の検討（国語・数学）

2 研究テーマ設定の理由

学習指導要領の改訂に伴い、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にすることが求められ、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が求められるようになった。このことは、教育課程を通じて子供たちにどのような力を育ませたいか、子供たちが何を身に付けるのかを明確にしていくことが求められるようになったということである。

上五島分教室においても、新学習指導要領に示された「育成を目指す資質・能力」の育成がどのように行われていくかを明確にするとともに、生徒に資質・能力を身に付けさせるための指導内容等の整備が重要となる。単元構想のツールを作成、活用することで事前に学習のねらいを定め、身に付けさせたい力を明確にした上で授業を展開すること、授業実践を通して挙げた課題等を踏まえながら教育課程の改善を行っていくことが可能となり、上五島分教室の教育課程がより充実したものになると考える。

3 研究の目的

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、本校の基本的な考え方を明確にし、「育成を目指す資質・能力」を身に付けさせるための指導内容等を整備する。

4 研究の内容

（1）研究の方法

平成30年度	新学習指導要領の読み込み、疑問点の整理 進路先等へのアンケート調査の実施 単元別指導内容表の見直し
令和元年度	新学習指導要領の読み込み、疑問点の整理 佐世保特別支援学校合同の単元別指導計画表の検討（国語・数学）
令和2年度	佐世保特別支援学校合同の単元別指導計画表の検討

上五島分教室職員全体に「単元別指導計画表」の必要性について周知を行う。

国語科・数学科について単元別指導計画表を作成し、授業実践を行う。その後、意見の集約を行いながら、より使いやすいツールとなるように様式の改訂を行う。また、単元別指導計画表を作成した上で研究授業を行い、改善点の検討を行う。

(2) 研究の経過

回	月日	内容	形態
第1回	4月16日	研究計画	全体
第2回	6月17日	研究内容の変更、今後の方向性の確認	全体
第3回	7月 2日	単元別指導計画表検討内容の説明 ・国数担当で計画表を作成し、記載する内容・活用法について検討を行う。	全体
※ 7/2～7/19 担当者による単元別指導計画表作成期間 (7/22 意見の集約)			
第4回	7月23日	全体への新様式の提示、検討	全体
第5回	9月20日	単元別指導計画表を基に授業を行うことについての意見交換、検討	全体
第6回	11月20日	教育課程について	各担任
第7回	12月10日	単元別指導計画表を基にした授業実践についての検討	全体
第8回	1月	研究のまとめ	全体

(3) 研究の実際

【第1回～第2回】 研究内容の周知・検討

はじめに、単元別指導計画表の検討を進めるにあたり、上五島分教室職員がその意義や有用性を理解することが必要であることから、全体に向けて説明を行った。

すでに、特別支援学校高等部学習指導要領が平成31年2月に告示されており、上五島分教室においても「社会に開かれた教育課程」、「育成を目指す資質・能力」、「主体的・対話的で深い学び」、「カリキュラム・マネジメント」の四つの柱を踏まえた学習活動の更なる充実が求められている。更なる充実を達成するために、単元別指導計画表の作成・活用を繰り返していくことの利点として、

- ① 単元ごとに授業における学習のねらいを定めることができる。
- ② 生徒へ身に付けさせたい力を明確にすることができる。
- ③ 授業実践を通して挙げた課題等を踏まえながら教育課程の改善を進めることができるようになる。

ことなどを挙げ、職員への説明を行った。

【第3回～第6回】 国語科・数学科における単元別指導計画表の作成、検討

上五島分教室の教育課程では、国語科・数学科について習熟度別でグループを編成し学習を行っている。3か年で学習内容の重複がないよう学びの履歴を確認しながら行っているが、既習事項について詳しく明記されていないこともあり、学習する内容

は教える教師の裁量によるところが大きい状況があった。

今年度、国語科・数学科において単元別指導計画表を作成し、活用できるツールとして検討を進めることで「育成を目指す資質・能力」が明確になり、次年度以降の教育課程の編成にも非常に役立つものとなると考え、作成に取り掛かった。

実際に国語科・数学科で単元別指導計画表を作成するにあたり、佐世保特別支援学校（あたご高等部）の様式を参考に検討を進めることとし、挙げた意見を基に単元別指導計画表（添付資料①上五島 Ver. 1）を作成した。

検討段階で、

- ① 授業者が見通しをもつために授業予定日を最初の段階でまとめる。
- ② 授業の様子をまとめる（書き留める）場所があると良い。
- ③ 反省の項目については次年度への引継ぎのために必要である。
- ④ 単元評価は基準を設け、形式化して良いのではないか。
- ⑤ 個人の学習到達度についてどのように評価することができるか。

などの意見が挙げられた。

意見①については、教務部から授業予定を今までよりも早くしてもらおうようにした。また、週案なども単元別指導計画表の様式に近づけることで、職員への関心を高める動機付けとなった。

意見②については、生徒の気になる行動や到達度について記入する「生徒の様子・エピソードなど」の欄を新たに設けた。

【第7回】 単元別指導計画表を基にした授業実践についての検討

国語科 A グループの授業（単元名：年賀状や寒中見舞いを作ろう）において授業実践を行った。その中で、

- ① 単元の目標が明確になることで、学習活動に対する手立てが取りやすくなった。また、学習の流れを事前に確認しながら授業を行うことができた
- ② 育成を目指す資質・能力の三つの柱が整理されることで、授業者自身の生徒へ対する問いかけや評価する視点にも変化が見られた
- ③ 単元における学習活動のつながりについて、今までよりも強くイメージしながら授業を行うことができたこと

が成果として挙げられた。

今後、単元別指導計画表が資料として残っていくことで、次年度の担当者が既習事項について詳しく把握できることや生徒の特性に合った手立てを考える際に役立つのではないかといった意見も出された。また、今年度は国語科・数学科において研究を行ったが、合わせた指導等についても意見が出され、様式について再度改訂を行った（添付資料②上五島 Ver. 2）

（4）まとめと今後の課題

今年度は、単元別指導計画表の説明を行うことで、その意義や有用性について上五島分教室職員へ周知することができた。また、国語科・数学科において実際に単元別指導計画表を作成し、授業実践を行っていくことで育成を目指す資質・能力を踏まえ

た学習活動の展開が可能となることを理解し、上五島分教室で活用しやすい様式の検討も行うことができた。

次年度、この単元別指導計画表を実践していく中で、

- ① 国語科・数学科以外の教科においても単元別指導計画表の作成を行う。
- ② 単元別指導計画表における授業評価と生徒に対する評価の整理。
- ③ 単元別指導計画表を活用するためのマニュアルづくり。

以上のことを検討し、生徒に育成を目指す資質・能力を身に付けさせるための指導内容等の整備を進めていく。身に付けさせたい力を明確にした上で授業展開を行い、挙げた課題等を踏まえながら教育課程の改善を行うことで、上五島分教室の教育課程をより充実したものとしていきたい。

参考文献

- 文部科学省 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示）
文部科学省 中央教育審議会 初等中等教育分科会（第100回）配付資料

単元別指導計画表		教科名 ()				※国数		グループ
単元名 ()		記入者 ()						
授業形態	全体・()学年 (習熟度別)	A	B	C	D			
授業日	題材 実施日	①		②		/	/	
単元目標	A (知識・技能) B (思考・判断・表現) C (学び・人間性)							
題材	○学習活動 ・活動のねらい	手立て・指導上の留意点			教材	生徒の様子・エピソードなど		
①								
②								
③								
項目		評価			内容			
単元目標について	A (知識・技能)							
	B (思考・判断・表現)							
	C (学び・人間性)							
反省	時数・時期							
	目標、評価、内容、手立て							
	教材、場の設定							
	育てたい力							

単元別指導計画表		教科名 ()				グループ
単元名 ()		記入者 ()				
授業形態	全体・()学年 (習熟度別)	A	B	C	D	
授業日	題材 実施日	①		②		/ /
単元目標	A (知識・技能) B (思考・判断・表現) C (学び・人間性)					
題材	○学習活動・活動のねらい	手立て・指導上の留意点	教材	生徒の様子・エピソードなど		
①						
②						
③						
単元目標について	項目 A (知識・技能) B (思考・判断・表現) C (学び・人間性)	評価	内容		※時数の配分 (合わせた指導)	
反省	時数・時期 内容、手立てについて 教材、場の設定	評価	内容		総授業時数	h
					教科	割振時数
						h
						h
						h